

読売新聞 きょう（7月4日）のイチ押し

1面など 党首討論 首相、消費税「10年上げず」

第25回参院選が4日公示されるのを前に、与野党7党首らが、日本記者クラブで討論会に臨みました。安倍首相（自民党総裁）は、10月に消費税率を10%に引き上げた後、10年間は消費増税は必要ないとの考えを明らかにしました。

- ★ 立憲民主党の枝野代表は10%への引き上げに反対の考えを示しました。
- ★ 老後資金として年金以外に2000万円が必要だとした金融審議会の報告書に端を発した年金問題を、野党は追及しました。

1面・社会面 九州大雨 総雨量 宮崎で1000ミリ超

梅雨前線が活発化した影響で、九州南部に強い雨が降り続き、先月末の降り始めからの総雨量は宮崎県えびの市で1000ミリを超えました。

- ★ 鹿児島県、宮崎県の110万人に避難指示が出ました。
- ★ 気象庁はホームページ上で公開している「危険度分布」を活用し、「薄紫」で確実に避難してほしい、と呼びかけています。

関西経済面 ニュース深層 未来の大企業 世界で発掘

スタートアップと呼ばれる創業間もない企業を発掘し、成長を支援する取り組みが熱気を帯びています。欧米で起業家育成に豊富な実績を持つ会社の関西進出も相次いでいます。

他紙と比べて

関連死を含め275人の犠牲者を出した西日本豪雨から6日で1年になります。被災地の今を見つめ、復興への課題を検証する連載「明日への課題」が社会面で始まりました。＜上＞では、高台への集団移転計画で住民の意見が対立し、自治会が解散した愛媛県西予市の例などを取り上げました。